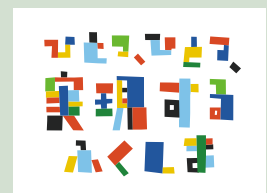




# 林業福島

No. **708**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 小檜山善継



**8**

2023

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 光る森の中へ



# 持続可能な木材利用 (use of wood) を促進

福島県木材協同組合連合会  
会長 鈴木 裕 一

福島県木材協同組合連合会の事業運営につきましては、日頃よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の県内の新設住宅着工戸数は、建築資材の高騰等により前年比九五割の九、三三〇戸となりました。住宅建築の回復の兆しが見いだせない状況にあるのに加え、エネルギーコストの上昇など木材業界にとって厳しい状況が続いています。

一方で、本県の森林資源は年々充実しており、人工林の多くが今まさに利用期を迎え、地球温暖化防止、国土強靱化、地方創生等の観点からも木材の計画的な活用を通じて、森林を維持・保全していくことが重要となっています。最近では耐火建築部材等の技術革新が進み、中高層建築物等での木造化・木質化の可能性が大きく広がり、令和三年には、いわゆる「都市（まち）の木造化推進法」が制定・施行され、対象が民間建築物にまで広がったところであり、今後の展開に大きく期待するところです。

カーボンニュートラルの実現やSDGsへの貢献を図るためには、伐採、再造林の促進、木材加工流通施設の整備等による供給力強化、建築物への木材利用に至るサプライチェーンの構築、クリーンウッド法に基づく合法性の確認された木材の流通・利用を推し進めることが重要であります。これらの取組の一環として、昨年十二月に県と「福島県産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結し、JAS製材品をはじめとする安全・安心な県産材の安定供給はもとより、様々な機会を通じて県産材のPRや木育活動等に取り組むこととしております。

また、五月に広島市で開催されたG7広島サミットの成果文書に、「持続可能な木材利用 (use of wood) を促進する」ことが初めて明記されました。これまでの持続可能な森林経営の記述に加え、木材利用が国際的に合意されたことは大変意義深いものと考えております。これらの社会的情勢を追い風と捉え、業界一丸となって課題に取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のご協力とご支援をお願いいたします。

## 《も く じ》

とびら	林業アカデミーふくしま研修日誌③	7
持続可能な木材利用 (use of wood) を促進 福島県木材協同組合連合会	普及指導員通信	8
会長 鈴木 裕 一	公社だより	9
皆伐再造林の推進に向けて	林経協だより	10
県政コーナー	木の文化を育む③	11
スギ花粉発生源対策に向けた取組	木材市況・ふくしま東西南北	12
「企業等による森林づくり」の活動について	はなしのひろば・お知らせコーナー	13
令和5年度安全衛生研修会を開催しました		



# 皆伐再造林の推進に向けて

福島県林業会議

令和五年七月五日、第三回目となる「皆伐再造林の推進を考える懇話会」を福島市において開催しました。

「皆伐再造林の推進を考える懇話会」は、県民等の社会的な森林・林業・木材産業への期待に対応し、未来に向けた林業・木材産業の連携した取組の実践への端緒とすることを目的に、昨年八月、福島県林業会議を構成する林業関係団体に参画いただき、皆伐再造林の推進に係る今後の取組について議論するため、福島県林業会議内に設置した懇話会です。

これまで開催した二回の懇話会では、本県の皆伐再造林の取組の現状と課題を基に論点を整理し、今後、皆伐再造林実証事業に取り組むことにより、更なる普及に繋げる方向で進めることとしました。

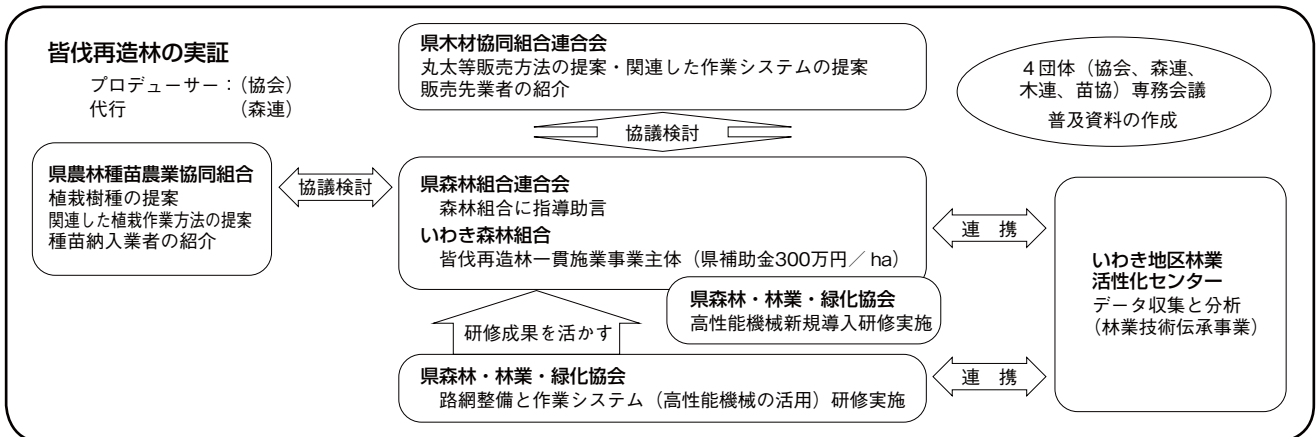
第三回目となる今回の懇話会では、これまでの議論を踏まえ、令和五年度以降における実証事業の実施に当たってのポイント、実証事業の

スキームを提示し、参画団体より了承されました。実証事業実施に当たってのポイント、実証事業のスキームは次のとおりです。

## 皆伐再造林実証事業実施に当たってのポイント

- ①森林所有者を客体とした普及資料作成のため実証事業を実施
  - ・森林所有者による持続的な林業経営が成り立つことを意識  
最大の立木価格 最小のコスト 最適な植栽樹種
  - ・県森林機能維持事業（1haあたり300万円補助）の活用による実証事業
- ②実証事業に関連した研修を実施
  - ・研修内容：路網整備と作業システム  
2種提案による研修（保有機械活用型）  
（最適機械活用型）  
指導者による提案の評価・指導
- ③研修成果を踏まえて実証事業の作業システムの決定
  - ・「新しい林業」実証事業12件からの情報も活用  
ICTハーベスタの活用  
短幹集材の導入、バイオマスの取扱  
エリートツリー、大苗の植栽  
地拵え、下刈りの方法
  - ・作業システムの一部について、他の先進的な方法を試行して研修を実施
- ④県森林機能維持事業以外の事業とのコラボ
  - ・構成団体が行う各種事業
  - ・活性化センター事業など
- ⑤県、森林総合研究所等に随時指導を依頼
  - ・関連情報の収集、整理
  - ・実証事業の実施計画詳細決定
  - ・実証事業のデータ収集と取りまとめ分析
  - ・普及資料作成

県内では、戦後造成された人工林が成熟しており、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用が課題であるとともに、地球環境保全、吸収源対策などの面で林業・木材産業の一層の貢献が求められています。「皆伐再造林の推進を考える懇話会」では、引き続き、林業・木材産業の連携した取組を進めてまいります。



県政コーナー

# スギ花粉発生源対策に 向けた取組

福島県森林整備課

## 1 はじめに

スギ花粉症は、国民の四割が罹患していると言われており、突然発症する可能性があることから、誰もが無関心ではられない問題となっております。

県においては、花粉の少ない苗木である少花粉スギ、スギ特定苗木（スギ特定母樹から生産された苗木）を生産するための種子供給のほか、様々な取組を行っておりますので、現在のスギ花粉発生源対策についてご紹介します。

## 2 福島県林木育種事業基本計画（第三次）

県は、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の実現に向けた種苗生産体制を確立するため、令和三年三月に本計画を策定しました。

策定当時、国においては、令和十

四年度までにスギ苗木生産量の約七割を花粉の少ない苗木にすることを目標に掲げており、また、森林の二酸化炭素吸収源としての

役割の強化や、伐採から再造林を経て育林までを効率的に行い、循環型林業を確立するための低コスト造林を推進してきました。

こうした中、成長量などの優れた特性を持つスギ特定母樹の増殖を支援する体制が整備され、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターの品種開発の取組により、多くのスギ特定母樹が開発されてきておりました。

県においては、東日本



採種園の管理（林業研究センター内）

大震災で被災した海岸防災林の復旧に向けたクロマツ苗木の供給に見通しがつき、また、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法の改正により、民間事業者がスギ特定母樹の採種園経営に参入できるようになったことを踏まえて、少花粉スギに加え、特にスギ特定母樹の種苗生産に重点を置くこととしました。

なお、令和十四年度までに全てのスギ苗木を花粉の少ない苗木に置き換える計画としております。

## 3 スギ花粉発生源対策の取組

(1) 花粉の少ない苗木の生産体制の整備

福島県林木育種事業基本計画（第三次）に基づき、スギ特定苗木は、福島県林業研究センター内にあるスギ特定母樹のミニチュア採種園から生産される種子により、令和三年度から生産を本格化しました。令和四年度末時点では、スギ苗木生産量一〇〇万五千本のうち、花粉の少ない苗木は三万五千本で、約三五割を占めるまでになりました。

今後は、県が行う種子供給を拡大するとともに、民間事業者による種子供給体制を整備し、スギ特定苗木の生産を拡大していくことといたします。

このため、県が令和三年度に認定特定増殖事業者として認定した福島県農林種苗農業協同組合による採種園の造成を支援しているところです。

(2) 花粉の少ない苗木の普及

現在、花粉の少ない苗木は、通常のスギ苗木より一割ほど価格が高く、また、国有林野からの引き合いがほとんどの状況ですが、今後、民有林においてもスギ特定苗木の普及を図るには、花粉量が従来半分以上





無償配布される少花粉スギ苗木



一貫作業（伐採機械による地掃え）

下であることに加え、成長量が通常の一・五倍で、材の剛性や幹の通直性にも優れているなどの特長をPRし、森林所有者、林業事業体など関係者の理解を深めることが必要と考えております。

このため、地方植樹祭などへの花粉の少ない苗木の無償配布を継続するとともに、今年度からは、従来品種と比較できる展示林を新地ほ場内に新たに造成し、「特定苗木の見え化」を進めて行きます。

(3) 花粉の少ない苗木の植栽拡大  
花粉の少ない苗木の植栽を拡大するためには、スギ人工林の伐採と植替えを着実に進めることが必要であり、そのためには植栽の省力化・低コスト化により、費用を負担する森林所有者、現場作業を担う林業事業者の負担軽減を図ることが重要と考えております。現在、花粉の少ない苗木は、植栽作業の労力を軽減できるコンテナ苗で生産されておりありますが、さらに、伐採から造林までの一

貫した作業に対し、一畝当たり三〇〇万円の支援を行うなど、植栽拡大に取り組んでおります。

#### 4 終わりに

政府は、花粉症という社会問題を解決するため、本年四月に「花粉症に関する関係閣僚会議」を設置し、五月三〇日には「花粉症対策の全体像」を決定しました。その中で、発生源対策の三本柱として、「発生源策」を掲げ、縦

花粉の発生源となるスギ人工林を約二割減少させることにより、花粉発生源も十年後に二割、さらには三〇年後に半減を目指すとしています。

特に、③花粉の少ない苗木の生産拡大については、原種苗木を生産する施設や採種園等の苗木生産体制の整備を短期的かつ集中的に取り組むことにより、十年後には花粉の少ない苗木の生産割合をスギ苗木全体の九割以上に引き上げることが目標として示されました。

近年は、森林の有する多面的機能のうち、土砂災害等を防止する役割や二酸化炭素を吸収・貯蔵する役割等の重要性が高まっていることから、伐採したまま放置されることがないよう、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を図ることが重要です。

本県のスギ苗木全数量に占める花粉の少ない苗木の生産比率は、全国平均（約五割）を下回っていることから、基本計画に基づく生産体制の整備を着実に進めるとともに、国と連携を図りながら、伐採・植替えが進むよう森林所有者等を支援し、森林・林業の活性化につながるよう、皆様と取り組んでいくこととしております。

「発生源対策」としては、①スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、②スギ材需要の拡大、③花粉の少ない苗木の生産拡大、④林業の生産性向上及び労働力の確保により、十年後の令和十五年度には

表-1 企業等による森林づくり協定締結一覧 (R5.3.31現在)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	株式会社東邦銀行	須賀川市 福島県	未来博記念公園	H21.6.5	H21.6.5～ H24.3.31	2.04
2	株式会社東邦銀行	喜多方市 福島県	松山森林公園	H21.10.8	H21.10.8～ H24.3.31	1.14
3	株式会社東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H22.8.25	H22.8.25～ H27.3.31	4.20
4	(公社)福島県トラック協会	下郷町 福島県(農林水産部長)	南会津郡下郷町 中山区	H22.11.6	H22.11.6～ H31.3.31	1.20
5	イオンリテール株式会社 マックスリュウ・高塚北株式会社 イオンスーパーセンター株式会社	(仮)ふくしまフォレスト エコー・ライフ財団 福島県	ふくしま県民の森	H23.1.31	H23.1.31～ H28.1.31	8.16
6	株式会社ディーエイチシー	猪苗代町 福島県	びわ沢原森林公園	H24.9.7	H24.9.7～ H26.1.28	7.60
7	株式会社東邦銀行	北塩原村 福島県	耶麻郡北塩原村 大塚地区	H24.9.7	H24.9.7～ H27.3.31	2.06
8	株式会社みずほフィナン シャルグループ	下大連共有山林組合 いわき市 福島県	いわき市平下大越 字南横手226番地	H25.4.24 H31.3.29 R4.3.17	H25.4.24～ R7.3.31	2.27
9	陸奥テックコンサル タント株式会社	南会津町 福島県(産林振興事務所)	南会津町八総地区	H26.5.1	H26.5.1～ H31.3.31	3.00
10	楽天株式会社	森林所有者代表 相馬市 福島県	相馬市山上地区	H26.12.26	H26.12.26～ H29.3.31	7.80
11	株式会社東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H27.9.25	H27.9.25～ H30.3.31	5.03
12	株式会社東邦銀行	いわき市 福島県	いわき市常磐湯 本町日渡地内	H27.10.1	H27.10.1～ H29.3.31	0.78
13	(仮)イオン環境財団	いわき市 福島県	いわき市錦町須 賀73-46	H29.9.11	H29.9.11～ R2.3.31	1.08
14	日本精工株式会社	棚倉町 福島県	棚倉町大字関口字 井戸作132-7ほか	H31.2.4	H31.2.4～ R6.3.31	6.35
15	株式会社エイチワン	福島県北森林組合 福島県	福島市佐原字鍵 40-1	R1.10.28	R1.10.28～ R6.3.31	1.05
合計(13者・15協定)						53.76

表-2 NPO・企業等による海岸防災林の植樹活動協定締結一覧 (R5.3.31現在)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	福島県森林土木建 設業協会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲58	H27.3.25	H27.3.25～ H30.3.31	0.13
2	イオン株式会社	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲58	H27.3.25	H27.3.25～ H30.3.31	0.12
3	相馬市総合建設業 組合	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲58	H27.3.25	H27.3.25～ H30.3.31	0.08
4	緑地創造研究会苗木 プロジェクト共同企業体 会(仮)ヤマト福祉財団出資	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲58	H27.3.25	H27.3.25～ H30.3.31	0.13
5	ふるさと再生、菜 の花、黒松植樹プ ロジェクト	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲58	H27.3.25	H27.3.25～ H30.3.31	0.08
6	東北電力株式会社	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	H28.3.30	H28.3.30～ H31.3.31	0.42
7	NPO法人日本パー ク堆肥協会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	H28.3.30	H28.3.30～ R3.3.31	0.12
8	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字北原40番地外	H28.5.14	H28.5.14～ R3.3.31	0.32
9	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字北原74番地外	H28.10.14	H28.10.14～ R3.3.31	0.51
10	東北電力株式会社	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	H29.4.4	H29.4.4～ R2.3.31	0.20
11	(公社)福島県トラッ ク協会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	H29.4.4 R2.1.21	H29.4.4～ R8.3.31	0.20
12	全富士通労働組合 連合会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字北原18(4区画)	H29.9.20	H29.9.20～ R4.3.31	1.00
13	東北電力株式会社	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	H30.2.13	H30.2.13～ R3.3.31	0.50
14	福島キヤノン株式会社	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字中谷地89ほか	H30.9.28 R2.12.22	H30.9.28～ R6.3.31	0.53
15	関通建設株式会社	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市原町区栗 字東坊志89ほか	H30.10.10	H30.10.10～ R3.3.31	0.08
16	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南 右田字中谷地35ほか	H30.10.16	H30.10.16～ R7.3.31	0.53
17	(公社)福島県トラッ ク協会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	R1.10.25	R1.10.25～ R8.3.31	0.40
18	株式会社東邦銀行	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字中谷地231ほか	R2.6.19	R2.6.19～ R6.3.31	0.10
19	ALSOK福島株式会社	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字中谷地241ほか	R2.6.19	R2.6.19～ R6.3.31	0.20
20	株式会社メイワ	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字中谷地195番ほか	R2.10.20 R5.2.24	R2.10.20～ R7.3.31	0.08
21	保士谷化学工業株 式会社	南相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	南相馬市鹿島区南海 老字中谷地30番ほか	R3.3.25	R3.3.25～ R8.3.31	0.75
22	NPO法人日本パー ク堆肥協会	相馬市 福島県(森林組合・林業振興会) 福島県	相馬市磯部字大 洲38-3	R3.10.21	R3.10.21～ R6.3.31	0.12
合計(15者・22協定) ※1協定は同じ箇所の協定なので、面積は増せず。						6.48

表-3 令和4年度企業等による森林づくり活動状況 (R5.3.31現在)

活動場所	実施者	月日	面積(ha)
1 棚倉町関口地区	日本精工株式会社	11月13日	1.67
2 相馬市磯部字大洲地内海岸防災林	NPO法人日本パーク堆肥協会	6月10日、10月15日	0.12
3 相馬市磯部字大洲地内海岸防災林	(公社)福島県トラック協会	9月28日、10月7日	0.44
4 南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	福島キヤノン株式会社	4月23日	0.53
5 南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	保士谷化学工業株式会社	5月20日、21日	0.15
6 南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	株式会社メイワ	5月28日、6月3日、 10月15日	0.08
7 南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	東邦銀行	10月27日	0.10
8 南相馬市鹿島区南右田地内海岸防災林	全富士通労働組合連合会	10月15日、16日、 10月28日、11月19日	0.30
合計			3.39

当協会は、県内の森林づくりの活動を一層進めるため、福島県の「みんなので支えよう森森(もりもり)元氣事業」に取り組み、企業やNPO等が社会貢献活動として行う植樹活動等をサポートしております。

この森林づくり活動に取り組みにあたっては、企業等の皆様は、森林所有者などと森林づくり協定を結び、活動していただくこととしております。

平成二一年度にスタートしました森林づくり協定は、「表-1」と

おり現在までに十五件、五三・七六畝の森林において結ばれております。

また、平成二六年からは、東日本大震災により大きな被害を受けた海岸防災林においても、協定を結び海岸防災林の再生を主とした森林づくり活動を進めてまいりました。この協定は「表-2」とおり現在までに計二二件、六・四八畝の海岸防災林において結ばれており、公募は令和二年度に終了し、現在八企業・団体が活動に取り組んでおります。中

には協定期間を延長し継続して活動していただいている企業や団体もおります。

令和四年度は、「表-3」とおり計八件、三・三九畝の森林づくり活動が行われました。主な活動内容は、植栽地の補植や下草刈り、海岸防災林でのクロマツ植栽や下草刈り作業などとなっております。

このような企業やNPOの皆様により森林づくり活動に感謝いたしますとともに、今後とも「企業等による森林づくり」の活動をサポートしてまいります。

現在、新たに協定を締結し、森林づくり活動ができる森林区域等を募集しておりますので、市町村や森林所有者などの皆様方から情報提供やご相談をお待ちしております。



エドヒガンの補植



海岸防災林でのクロマツの植栽

# 「企業等による森林づくり」の活動について

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会



# 令和5年度 安全衛生研修会を開催しました

## 福島県森林土木建設業協会

福島県森林土木建設業協会は令和五年七月三日、杉妻会館において令和五年度安全衛生研修会を開催しました。

会員の今年度の安全衛生に関する取組に資するよう、七月一日から実施されている全国安全週間に合わせて開催したものです。

今年度は、労働安全研修として、労働災害の発生を防止するため、森林土木工事の安全対策等についてあらためて確認し、また、産業保健研修として、人手不足感が強まっているこの時代の管理監督者として対応

しなくてはいけないメンタルヘルスについて学びました。

今回の研修会は、新型コロナウイルス感染症への対応が変更されての開催で、会員企業の管理監督者、人事・労務管理者等、昨年度のおよそ二倍となる三〇名が受講し、今年度の仕事に活かせるよう熱心に受講していました。

また、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPD S)の認定を受け受講証明書を発行しました。

### 〈労働安全研修〉

『森林土木工事の安全対策等』

講師 福島労働局労働基準部健康安全課  
産業安全専門官 三瓶 詔宏氏

福島県における令和四年の労働災害発生件数は七割以上増加したが、

新型コロナウイルス感染症を除去と微増であり、建設業・林業共に減っている。令和五年も新型コロナウイルス感染症を除去と減っており、建設業も減っているが林業は増えている。

皆さんのところでは死亡事故はほぼ皆無と思われるが、その状況を維持するためにもPDCAサイクル、特にC(評価)とA(改善)を意識して欲しい。

安全衛生方針の明文化、リスク低減のための工学的対策と共に計画段階で安全な施工方法の検討に留意して欲しい。

### 〈産業保健研修〉

『管理監督者向け  
メンタルヘルス講座』

講師 独立行政法人労働者健康安全機構  
福島産業保健総合支援センター  
産業保健相談員 佐藤 美恵氏

労働者のおよそ半数が仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じており、民事上の個別労働紛争に占める「いじめ・嫌がらせ」を理由とする相談件数も年々増加している。精神障害に係る労災支給決定件数も増加傾向にあり、傷病別総患者数に占める主な精神疾患数は糖尿病に次いで二番目となっている。

労働者のメンタル不調は実際に健康障害を引き起こし、メンタルヘルスは安全衛生活動の一環として事業者が取り組むべき重要な課題である。企業は安全配慮義務の履行として、危険を予知する義務と危険を回避する義務を履行しなければならない。

管理職には職場環境のチェックと人間関係づくりとして、メンタル不調が心配な部下への心配り、声かけ、気付き、傾聴、つなぎが求められている。全ての働く人が心身共に健康で生き生きと働けるよう、組織の仕組みづくりと継続的実践が重要である。



石川俊幸会長あいさつ



研修会の様子



労働安全研修 三瓶 詔宏 講師



産業保健研修 佐藤 美恵 講師

# 林業アカデミーふくしま研修日誌③

## 福島県林業研究センター

就業前長期研修三ヶ月目の六月の研修は、大半が資格取得となり、新しい知識や操作方法をひたすら反復する日々でした。

### ○六月の研修内容

「車両系建設機械運転技術」の講義では、山で切った木を市場などに搬出するための道を作るのに必要なドラグショベルなどの重機の運転技術を学びました。

「不整地運搬車運転技術」の講義では、資材の運搬作業を行うための不整地運搬車の運転技術を学びました。

「小型移動式クレーン運転技術」の講義では、木材の積み込み業務などに必要な、小型移動式クレーンの運転及び操作方法を学びました。

「走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎」の講義では、フォワードやフェラーバンチャ、スイングヤーダなどの操作方法を一人ずつ教わりました。木材の積み込みや走行、積下ろし、また立木を掴む等の

操作、そして講師が張っておいでくださった架線をお借りし、搬器の操作等を体験しました。

「樹木学」の講義では、妙見山実習フィールドにあった約三〇種類の樹木の名前と特徴を学びました。

最後の週は、「造林・更新」「下刈り、つる切り、除伐、枝打ち」「間伐」の講義を四日間かけて、数十年にわたる森林施業の一連の流れを学びました。皆伐した後の地拵えや植え付け、苗木の生育を補助するための下刈りやつる切り、雑灌木や不良木を伐る除伐や無節材を作るための枝打ち、そして林木の密度を減らして質の良い材を育てるための間伐など、しっかりとしたイメージを持って作業に取り組むことの重要性を学びました。

### ○研修生の感想 郷 政時さん

私が林業の世界に入って驚いたことは、使われている機械の種類が多いということです。六月の資格取得では、フェラーバ

ンチャ（伐木用機械）やフォワード（木材搬出用機械）、スイングヤーダ（架線集材機械）を操縦しました。その他にも、ハーベスタやグラップルなどの林業機械があり、これらの機械はそれぞれの作業を効率的に行うために使用され、今の林業は最先端な技術を取り入れているのだと感動しました。

しっかりとした知識を持って林業機械を操縦することで、作業効率と安全性の向上に繋がると思います。

最後に、皆さんの林業に対しての認識が、危険な職業からやってみた、面白そうな職業になってくれるように、修了後には様々なことに取り組んでいきたいと思えます。

### ○研修生の感想 瀬谷光広さん

六月は、車両系建設機械の資格取得や運転技能講習、チェーンソーの内部構造やメンテナンス技術、造林、育林、間伐など非常に幅広い知識と技術を学ぶ機会を得られ充実した一ヶ月となりました。

特に育林の講義では、以前から気になっていた森林の中で見られる、「根上がり木」ができる理由や、梢殺など聞いた事はあるが、意味の分からなかった単語の意味を知れてよかったです。

また、伐採現場で行われている列状間伐は、運び出し作業の効率が良いという利点と、間伐の育林という一番の目的からするとそれのみではあまり意味をなさない（残った列の間伐を併せて行わなければならない）という欠点があるので、他の間伐も行う必要があると思いました。これからも幅広い知識を学び、林業の現場で活かせるよう励んでいきたいと思えます。



間伐の必要性を学ぶ研修生



フェラーバンチャを操縦する研修生



# 飯舘村の栽培わらびの出荷の再開に向けた取組

相双農林事務所

林業普及指導員 蓮 沼 正 将

## 1 はじめに

飯舘村は東京電力福島第一原子力発電所事故により、全域が計画的避難区域に指定され全村避難となりましたが、除染等が進み、2017年3月末に長泥地区以外の避難指示が解除され、令和5年5月1日にはすべての避難指示が解除されました。

避難指示解除後は一部住民の帰還等により、農作物の栽培が少しずつ再開していく中で、原発事故前にわらびの栽培を行っていた飯舘村前田地区の生産者から、村を通じて相双農林事務所に栽培わらびの出荷再開に向けた相談がありました。

これらの課題の解決に向けて、林業普及指導員、村、生産者が協力して安全なわらび栽培の取り組みを進めておりますのでご紹介します。

## 2 取組の内容

出荷を再開するには、栽培わらびの放射性物質濃度が安定して基準値を下回ることを確認する必要があります。

栽培したわらびから100Bq/kgを超える放射性物質が検出されないよう、吸収抑制対策として、農業関係の研究結果を参考に、土壌中の交換性カリウム含量が25mg/100g以上になるよう、カリウム施肥を実施しました。更に、林業普及指導員が定期的に生産者を訪問し施肥管理を指導するとともに、山林から放射性物質が流入しないよう、山林と接しているところは溝を作ることを提案しました。

その後、発生した栽培わらびの安全性を確認するため、1,100㎡の圃場を森林と牧草地に面している縦長な地形であることを考慮し8分割したうえで、わらびを採取し、それぞれの放射性物質濃度を測定しました。

その結果、令和5年4月下旬に発生したわらびの放射性物質濃度は基準値を大きく下回り（すべて50Bq/kg以下）ました。原発事故以降、初めて出荷可能となりましたが、今年度は遅霜の被害を受け、高品質のわらびが収穫できなかったことから、生産者の意向により出荷を見送りました。

## 3 今後の対応

生産者に対するカリウム施肥等による放射性物質対策等の管理指導を継続し、原発事故後初の出荷につなげたいと考えております。

また、今回、出荷が可能となった生産者については、さらに圃場を拡大したい意向があることや、飯舘村内において他にもわらびの出荷再開に興味を示す方もいることから、新たな栽培わらび生産者台帳※への登録に向けた生産指導を展開していくとともに、品質の高い飯舘村の栽培わらびを消費者へPRする方法等の指導を行い、生産意欲の向上や風評被害の払拭へもつなげていきたいと考えています。

※栽培わらび生産者台帳：生産者ごとに生産環境（ほ場、栽培履歴）やわらびの安全性（放射性物質濃度）の確認を行い、安全が確認された生産者を登録する台帳



圃場の調査の状況



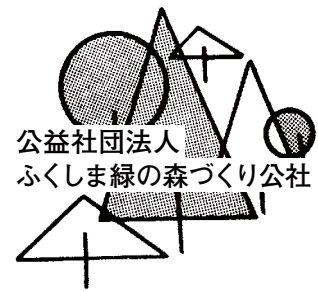
わらびの発生状況



わらびの検体

公社だより

第10回  
定時社員総会を開催  
(6月14日)



去る六月十四日(水)福島市の「キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)」において、ふくしま緑の森づくり公社の第十回定時社員総会を開催し、令和四年度の事業報告及び決算について議決いただくとともに、令和五年度事業計画などについて報告しました。

はじめに、佐藤宏隆理事長より「近年、我が国では、自然災害が激甚化、頻発化しており、その要因とされている地球温暖化対策が喫緊の課題となっています。そうした中、森林の持つ二酸化炭素吸収源としての機能が一層注目を集めており、森林整備の取組を着実に進めていくことが極めて重要となっています。一方で、本県においては、未だ多くの森林が原発事故による放射性物質の影響を受けており、森林整備の停滞から、水源かん養や国土保全を始めとした森林の多面的機能の低下が懸念されています。このため、当公社としては、「ふくしま森林再生事業」などを活用し、森林の再生を進める

ことで、県土の保全や農山村の振興などに取り組んでいるところですが、また、今年度が最終年度となる「第二次緑の森づくり新生プラン」の目標達成に向け、市町村や関係団体と連携しながら、効率的な森林整備や経営改善などを進め、森林資源の適切な管理を積極的に推進してまいりますので、皆様には、今後とも、一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。」と挨拶がありました。

次に、田村市の白石高司市長を議長に選出して議事に入り、令和四年度の事業報告及び決算の承認、令和五年度賦課金の徴収、役員を選任など四議案についての審議が行われ、原案どおり承認されました。令和四年度の主な事業実績については、以下のとおりです。

1 効率的な森林整備と森林再生への取組

有利な補助事業を最大限活用し、利用間伐を中心とした事業の重点化を図ることにより必要な事業を実施し、効率的な森林整備に努めました。

また、ふくしま森林再生事業については、会津美里町や田村市などの契約地において、引き続き森林整備を行うなど、関係市町村等の支援を受けながら、中核となって造林地の再生に取り組みました。

2 木材生産販売対策の推進

搬出コスト低減のための作業路網の整備や、ロシアのウクライナ侵攻の影響など木材需要情報の把握に努めながら、計画的な木材生産と有利販売に結びつく採材に努め、木材市場での委託販売や山土場での買受申込による販売など、積極的な木材販売に取り組みました。

3 分収造林契約変更の推進

引き続き専任の担当者を中心に契約者との交渉を実施しました。その結果、分収割合の変更は十二件、契約期間の延長は八件の同意が得られました。

4 普及・啓発活動の展開

新型コロナウイルス感染症を考慮し、公社主催の各種研修会は中止としましたが、福島県東北農林事務所主催の研修会へ講師職員の派遣を行ったほか、公社事業の請負事業体に対し、安全管理や採材方法等に関する指導を実施しました。

5 市町村との連携による新たな森林管理システムへの挑戦

社員市町村が、ふくしま森林再生事業の計画を策定するに当たって助言

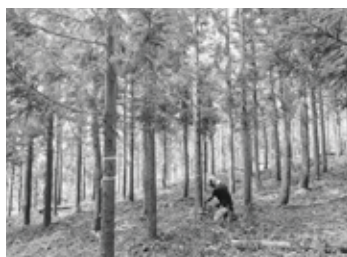
を行いました。  
6 ICT技術、新たな施業技術の活用  
計画的な森林整備やより効率的な出材を行うための路網整備などに必要な航空レーザ計測データ等のICT技術の活用に向け、公社が所有する森林GIS情報の更新など公社造林地の情報の精度向上に取り組みました。

令和五年度は、社員市町村における森林経営管理制度の取組状況を注視しながら、公社造林地に近接した区域において市町村が検討を開始する場合、連携して整備計画を進めます。また、保育事業等、四〇〇畝の森林の整備や二二、七七〇畝の作業路開設など、約三億七、二〇七万円の事業を実施する予定です。引き続き関係団体等との連携のもと健全な森づくりに努めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

※当公社の概要、第二次新生プラン等については、当公社HPで公表しております。  
(URL: <http://www.fuku-rin.jp>)



挨拶する佐藤理事長



保育間伐 (磐梯町遠平)



団体のページ

林経協  
だより

令和五年度通常総会を開催しました

福島県林業経営者協会

福島県林業経営者協会は、令和五年六月二九日、杉妻会館（福島市）において令和五年度通常総会を開催しました。

令和四年度事業について、全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大傾向に収束が見られたことから、通常開催に近い形で行われた全国育樹祭への参加や三年ぶりに開催された東北六県・新潟県林業経営者協会連絡協議会への参加など、林業関係団体との連携に努めたことについて報告がありました。

令和五年度においては、引き続き林業関係団体との連携を深めていくための事業等を継続して実施すること、加えて、新たな取組として、森林所有者による持続的な林業経営に資するよう、栃木県の齋藤正氏（有）高見林業代表取締役、全林研会長）を講師に招いての講演会を開催し、非会員も含めた参加者により意見交換を行う場を設けることを盛り込んだ事業計画が承認されました。

今年度は役員改選の時期に当たり、次のとおり新執行体制が決まり

ました。

会長 中野 光（遠野興産株）  
副会長 佐川 廣興（協和木材株）  
理事 小野 勝史（磐城造林株）  
理事 小檜山善継  
（公社）福島県森林・  
林業・緑化協会

監事 大谷 正洋

総会終了後には、常陽銀行様からJークレジットについてご講話をいただきました。

講話  
常陽銀行における  
Jークレジットの活用について

講師 (株)常陽銀行常務執行役員

常陽グリーンエナジー株  
取締役 小松崎光一氏

Jークレジット制度のメリットは、クレジット創出者にとってはクレジット売却による副収入の確保や投資費用の回収、更なる省エネ投資への活用等、クレジット購入者にあつては環境貢献企業としてのPR効果や製品・サービスの差別化・ブランディングを可能とすること等で

す。

Jークレジットの在庫を抱えたT森林組合からの要望を受け、常陽銀行は新規事業の一環としてJークレジットの取扱を検討しました。

その際、単にJークレジットの販売代行ではなく、脱炭素経営とファインランスの両面からお客様へ提案し、寄贈サービス付私募債（社会貢献応援債）として一口十万円販売しました。

購入されたお客様には常陽銀行から「SDGs宣言」のパネルを寄贈させていただき、T森林組合からも木製の感謝状が贈られました。

森林吸収系のJークレジット創出では、森林の持続性を担保するため、森林経営計画の提出や森林の状況等の報告が義務として課せられています。また、プロジェクト登録時やモニタリング報告時には手数料も発生し

ます。

常陽銀行としては脱炭素経営に向けた取組として、当社グループが有する様々なノウハウを活かし、クレジットの創出から販売、その後の認証対象期間での取扱について、責任を持ってバックアップしてまいります。



来賓のあいさつ



総会の様子



講話の様子

木の文化を育む⑤③

想いをしなぐモノづくり〜技術と伝統を活かして〜

(yashu)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

秋から冬にかけて紅葉し、赤い実を付ける柿の木は、古くから庭木として植えられることが多く、里山の風景を彩ります。渋柿の絞り汁を発酵・熟成させて作る柿渋は、平安時代から庶民の生活文化として育まれ、自然由来の塗料・染料として使用されてきました。また、その特性を活かし、柿渋は防霉・防虫・防水のほか、家庭の常備薬として日本人の暮らしに寄り添いながら生活のあらゆる場面で使用され、今日もモノづくりに活かされています。

○野趣をカタチに

「野趣」に由来する屋号「yashu」は、自然そのものが持つ素材で美しい野趣を表しています。福島県中通り南部に位置する工房yashu（西白河郡・中島村）が建つ敷地には、果樹の木が生い茂り、柿やプラムがたくさん実っています。長閑な自然に囲まれた工房では、木工作家の佐久

間隼人さんが、素材で美しい自然の野趣をカタチにした木の道具や家具を製作・修理し、届けています。佐久間さんは岐阜県にて家具の製作とデザインを学んだ後、地元の家具屋に勤務し、yashu設立に至るまでの約九年間、デンマークのヴィンター

ジ家具の修理・メンテナンスを中心に、オリジナル製品の開発等を手掛けてきました。「道具を通じ、人々がその人らしく、穏やかにあるよいうな物を今後も作っていきたい」と佐久間さん。

○yashu黒の器展

今年の六月に開かれた個展では、木工旋盤を使用して削り出したヤマザクラやクワの木皿に草木染めを施して、黒く染め上げた器を展示しました。柿渋と鉄媒染を使用した染めのノウハウは、佐久間さんが何度も試作

を繰り返して完成させた技術です。新品の黒く艶やかな表情から、使用による傷や変色の経年変化まで楽しめるよう製作した器を、佐久間さんは「変化する美しさを想像しながら楽しんでいただきたい」という想い込めて、訪れた多くの人々へ届けました。

○草花が似合う花器

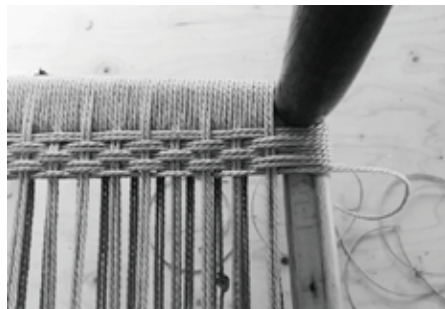
佐久間さんは、身近な草花が似合う花器も製作しています。個展のほか、イベントのワークショップでは、木工旋盤を使用して、木の美しさと滑らかな曲線を生かしたドライフラワー用の一輪挿しを製作しました。「日々忙しい生活だからこそ、疲れて帰ってきた時や休日にのんびりしたい時など、ぼんやりと四季や植物達に触れてほしい」と佐久間さん。美しい暮らしの道具は、使う人の心を豊かにしてくれます。

○使い手の想いをしなぐ

家族の歴史や愛着のある思い出の家具には、使い手の様々な想いが込められています。佐久間さんは椅子やベンチの座面張替えなど、家具を修復・再生するだけでなく、伐採された木から暮らしの道具をつくることで、使い手の想いをモノに変えてつないでゆきます。直しながら使い、世代を超えて受け継いでゆく…想いがつまった物語を絶やさずに子供や孫、次世代へ人々の想いをつないでいきます。

○まとめ

そっと暮らしに寄り添うような美しい木の道具を生活に取り入れて、心豊かに、そして穏やかな気持ちでいられるよう、貴方も日々の暮らしを創造してみませんか。



北歐ヴィンテージ家具の修復



染めの試作



yashu黒の器



## 県森連いわき共販における木材市況（7月分）

令和5年8月1日  
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下			
		10~13	14.0	13.5				13~14			
		24上	8.0	7.3				16上			
	3.65	16上				クリ	4.00	16上			
		24上	8.1	7.3			3.00	16上			
	3.00	9下	12.0	11.0		モミ	4.00	20上			
		10~13	11.5	11.3							
		14~16	9.4	9.0							
		18~20	10.1	9.3							
	6.00	22上	9.6	8.8							
16~20											
2.00	16上	7.5	5.5								
ヒノキ	4.00	10~13				市況概要と市況展望 入荷量は少なめでした。販売量は3,146㎡（前年同月比98%）でした。 市況は、スギ3.00m柱材は引き合いがありますが価格は横ばいです。スギ3.65m、4.00m中目材は変わらず元落ちが多いです。 スギ3.00m、4.00m小径材は引き合いあり活発に取り引きされていますので造材よろしくお願い致します。 虫害が発生しておりますので十分に考慮の上、出荷お願い致します。					
		14~16									
		18~20				8月の共販日					
		22上				4日(金)					
3.00	16~20				28日(月)						
アカマツ	4.80	18~22			行事とお知らせ 8月4日 七夕市 いわき木材流通センター 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。						
	4.00	18~22									
		3.00	24上								
	16~22										
	24上	7.3	7.0		<input type="text" value="福島県森林組合連合会 木材市況"/> <input type="button" value="検索"/>						

いざ調査を始めると、暑さ以外にも障害がありました。それは、最近の気候で旺盛に成長してしまった下草が、プロットの目印とした杭を飲み込んでいたのです。鉋を振り回し、

さる七月某日、福島県内全域が厳しい暑さに見舞われたその日、私とはあるコウヨウザンの植栽現場を訪れていました。目的は令和二年度から令和四年度にかけて毎年植栽をしたコウヨウザンの生育調査、もう一つはコウヨウザンを食害する野生動物を確認するためのセンサーカメラの設置です。

調査当日、天気はやや晴れ間が見えている程度、予報で言うほど暑くならないのではないかと私は随分呑気に構えていました。デスクワークを離れて現場に出かけられることに胸を高鳴らせ、「気分転換になれば最高だな」とちょっとしたお出かけ気分です。事務所を出立しましたが、現場に着く頃には真夏の日差しが顔を炙り、気温は三〇度をゆうに超えています。

手探りで杭を探すうちに、プロットを作成した時、「もつと目立つものを使えば良かった」ととても辟易としてしまいました。

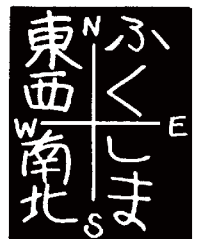
プロットを探し始めて一時間と少し、全ての杭を見つけ出し、ようやくコウヨウザンの調査を開始しました。「これだけ下草があると枯れているのでは」と思いつつ確認をする

とやっぱり枯れているものがちらほら見られました。しかし、根元をよく見てみるとほとんどが萌芽していました。「針葉樹も萌芽するのか」と感動しているといつの間にか調査も終了してしまいました。暑く険しい調査でしたが終わってみれば、結構楽しい調査でした。今はセンサーカメラに何が映るかとてもワクワクしています。

調査当日、天気はやや晴れ間が見えている程度、予報で言うほど暑くならないのではないかと私は随分呑気に構えていました。デスクワークを離れて現場に出かけられることに胸を高鳴らせ、「気分転換になれば最高だな」とちょっとしたお出かけ気分です。事務所を出立しましたが、現場に着く頃には真夏の日差しが顔を炙り、気温は三〇度をゆうに超えています。

手探りで杭を探すうちに、プロットを作成した時、「もつと目立つものを使えば良かった」ととても辟易としてしまいました。

プロットを探し始めて一時間と少し、全ての杭を見つけ出し、ようやくコウヨウザンの調査を開始しました。「これだけ下草があると枯れているのでは」と思いつつ確認をする



「夏の暑さにも負けず」

県南農林事務所 長谷川 翼



センサーカメラ



コウヨウザン調査中

はなしの  
ひろば

卒業

八月になると新聞に掲載される投稿の句や歌に追憶の歌が増えてくる。終戦記念日、原爆の日、そして、月遅れお盆の月だからだろうか。

我が家の仏壇には、明治三十九年から平成十八年までに亡くなった十一尊（人）の仏様が祀られている。その中には「昭和二十年五月四日、二十六歳、ウオッチユ島で陣歿（お位牌のまま記す）」されたご先祖様がおられる。その二十六歳という若さで戦死した事実を目の当たりにする時、一瞬、時が凍てつき、凍てついた時が溶けるまでには少しの時間が必要になる。日本人の戦死は、統計によると、市民も含め、日清、日露、第二次世界大戦で約三二二万人とも云われる。が、他国では、今なお暴力的な紛争解決手段である戦争が続けられているという現実がある。

しかし、生命が未来永劫ではないことを知ってはいても、大切な人やペットとの「死別」はやはり悲しい。それが予期せぬ突然の別れともなればなおさらだ。が、両親も含めた十一尊のご先祖様や亡くなったペットにも、それぞれにいろいろなことがあっただろうが、それぞれの人生を精一杯生きたのだから、それは「この世の人生からの卒業」かも知れないと思うようになってきた。今年、精一杯生きてこの世から卒業したご先祖様やペットに「ありがとう、そして、卒業おめでとう」の気持ちを送り火に添えてみようかと思う。月遅れのお盆が終わると、光も雲も少しずつ遠のいて、すずやかに鳴く虫の音が聞こえてくる秋へと替わっていく。

(都)

表紙の写真



「光る森の中へ」

第37回ふくしま緑の写真コンクール  
特選  
受賞者 鈴木孝男さん(いわき市)  
撮影場所：いわき市

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
飯沼隆  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

第8回福島県きのご料理コンクール 作品募集

きのごに対する正しい知識とその利活用の普及に向けて、県産きのごを主に使用したオリジナルのきのご料理を募集しています。

県民の皆様からの多数のご応募をお待ちしています。

1. 応募資格

- ・16歳以上または高校生以上で、県内在住の方
- ・応募は、個人（グループの場合は代表者）に限ることとし、一人1作品

2. 応募条件

- ・きのごを用いた未発表の料理
- ・福島県内で生産されたきのごを使用  
※県産きのごの販売先：JA直売所、道の駅等
- ・材料費は、4人分で2,000円以内
- ・調理時間は1時間以内  
※乾燥きのご等をもどす時間を除く。
- ・本審査に参加できること

3. 日程

- ・応募締切 令和5年9月8日(金) (必着)
- ・本審査(調理審査)  
期日 令和5年11月4日(土)

4. 応募方法

- ・応募用紙(所定)に必要な事項を記載するとともに作品の写真(カラー)を添付し、応募先に郵送又はメールで送付。メールの場合は写真のデータを必ず添付。

○詳細は当協会のホームページをご確認ください。  
応募の際は、応募用紙をダウンロードしてご使用ください。

→当協会ホームページ (<https://www.fukurin-net.jp/>)



第7回福島県きのご料理コンクール県知事賞受賞作品



# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



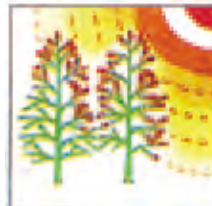
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)  
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ  
グラップルプロセッサ

# GP-35B

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

**イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



( 仙台支店 ) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6  
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699  
( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1  
( 支 店 ) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



# 東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245  
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



## 人と共に 緑と共に

*For Professional*



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

*For Professional*



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

# (有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1